

第四十四回帝國議會 衆議院

作業會計法中改正法律案外一件 (作業會計法中改正法律案) 委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十年二月十七日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

龍野周一郎君 高野 毅君 高橋金治郎君

坂本素魯哉君 木下成太郎君 田中 善立君

矢島 專平君

同日十五日委員田邊熊一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同

日高橋金治郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 男爵加藤友三郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 佐々木謙一郎君

海軍主計中將 志佐 勝君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

作業會計法中改正法律案

海軍燃料廠ノ石炭、煉炭又ハ燃料油ノ買入ニ關スル法律案

○委員長(龍野周一郎君) 前回ニ引續キマシテ開會ヲ致シマス

○高野毅君 前回ニ於キマシテ契約買入ノコトニ就テ質問ヲ保留シテ置キマシタ、其御答辯ヲ願ヒマス

○志佐政府委員 契約書ハ手許ニゴザイマセヌノデ、何レ取寄セテ御目ニ懸ケルヤウニ前回ニ於テ申上ゲテ置キマシタガ、段々契約書ヲ調ベテ見マス、在英國ノ前渡官吏ニ於テ契約シタ契約本書ハ海軍省ニハゴザイマセヌ、寫ガゴザイマセヌ、ソレハ原文ニナッテ居リマシテ、部數ガ澤山ニナッテ居リマスカラ、簡單ニ其要領ヲ申上ゲタガ方便宜カト思ヒマス、供給會社ハ英國ノアジャチツクベトリユームト云フ會社ガ、供給ノ契約締結ニナッテ居リマス、大正六年六月ヨリ九年十一月迄ニ契約締結致シマシタ數量ハ、四十五萬噸ニナッテ居リマス、ソレヲ蘭領「ボルネオ」ヨリ國內ニ取寄セリト云フコトガ手續ニナルノデアリマス、單價ハ二十一圓ヨリ七十三圓マデノ間デアリマス、其他ノ部分ハ普通一般ノ契約ト同ジデアリマス、ソレカラ前回ニ御尋デアリマシタ炭田ノ坪數、並ニ其採掘量、其他炭田ニ含量炭ノ大要ニ就テ御尋ガアリマシタガ、ソレハ書面ニ致シテ御手許ヘ差上ゲルコトニ取計ヒマス

○高野毅君 唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマスト、アジャチツクベトリユームノ契約ト云フモノハ、既ニ過去テ居ルヤウニ思ヒマスガ、六年六月カラ九年十一月迄ニ四十五萬噸ヲ取ルト云フ契約ハ……

○志佐政府委員 契約締結ノ時期ヲ申上ゲタノデアリマス、而シテ此契約ノ實行ハ、大正十一年度迄ニ實行スルノデアリマスカラ、尙ホ十年、十一年ト將來ノ部分ガアリマス

○高野毅君 米國ノ方面ニ於ケル契約ハ、別ニ政府トシテ締結シテアル手續ノ事ヲ承リタイ

○志佐政府委員 蘭領「ボルネオ」産及北米産ノ兩方ガ此中ニ入ッテ居リマス

○坂本素魯哉君 先日委員會ニ於テ私ノ質問致シマシタ事ニ就テ、海軍大臣ト御協議ノ上御返事下サルト云フコトデシタガ、ソレハ前回ニ於テ石油政策ノ樹立ニ對スル建議案ガ滿場一致ヲ以テ可決致シテ居リマス、其時ノ希望ト致シマシテ、吾々ハ自給自足ノ大方針ヲ決メテ戴キタイ、就キマシテハ先ツ第一番ニ日本國內ノ油田ノ開發ニ對シテ政府ハ御自身ニ試掘ヲサレルカ又ハ會社ニ補助ヲ與ヘテ試掘ノ獎勵ヲサレルカ決メテ戴キタイト云フコトヲ、建議致シテ置キマシタガ、今回ノ此案ニ就キマシテハ、製油ノ事業ヲ新ニ起サレマシタケレドモ、油田ノ開發トクサウ云フ事ノ問題ニ就テハ少シモ觸レテ居ラヌヤウニ見エマスガ政府、或ハ追加豫算ヲ出サレマシテ、更ニ油田ノ開發ニ對シテ保護獎勵ヲサレル御計畫ガアリヤ否ヤ、御答ヲ得タイト思ヒマス

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 唯今ノ御質問ハ、要スルニ内地ニ於ケル油田開發ニ關シテ政府ガ之ニ補助ヲ與ヘル方針ヲ執ルルカ、若クハ政府自ラヤルカト云フガ如キ、大體ノ方針ニ對スル御質問ト考ヘマス

○坂本素魯哉君 サウデゴザイマス

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 是ハ前議會デアリマシタガ、御建議ノアツコトハ承知致シテ居リマス、其以前ヨリ致シマシテ、此問題ニ就キマシテハ主トシテ農商務省ガ主務デアリマス、又海軍ハ御承知ノ通り、實際使用致シマスノハ海軍ガ其大部分ヲ占メテ居リマス、斯様ナル關係デアリマスルノデ、兩省間ニ色々ナル協議ヲ遂ゲツ、アリマス、現在ニ於キマシテモ、所謂石油政策ナルモノニ對シテ如何ニスルカト云フコトニ就テ協議中デアリマス、今議會ニ追加豫算ヲ提出スルト云フ域ニハ恐ラク達シマイカト考ヘテ居リマス併シ其邊ノ事ハ私ヨリ明確ナ御答ハ致兼ネルノデアリマス

大體今日ノ内議ノ模様カラ推測致シマシテ、今回ハ遺憾ナガラ間ニ合ハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ是ハ是非共何トカ方法ヲ決メナクチャナラヌト云フコトニ就テハ、全然建議ノ趣旨ト同様ノ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス晚カ、

レ早カレ是非共決定サルベキモノト信ジテ居リマス

○委員長(龍野周一郎君) 此場合私カラ委員諸君ニ御諮リ致シマスガ、海軍大臣ハ貴族院ノ方ノ豫算委員會ノ御答辯デ大分御忙シイト思ヒマスカラ、海軍大臣ノ説明ヲ求メヤウト云フ大キナ御質問ガアリマシタラバ、成ベク此際ニ其御質問ヲ下スレテ細目ハ政府委員デ御答辯ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、サウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス

○木下成太郎君 一寸承ッテ見タイト思ヒマスガ、今日ノ我國ノ立場、即チ世界戰亂ノ終熄ヲ致シマシタ以後ニ於ケル世界ノ狀態ハ、平和ニハ相違アリマセヌケレドモ、是ハ私共ハ沈黙シテ居ル所ノ一ツノ修羅場ガト思ッテ居ルノデアリマス、同時ニ其方面カラシテ觀察ヲ致シマスト、第一二千九百七十七年ノ亞米利加ノ學童離隔問題及大正二年、即チ千九百十三年ニ於ケル日本人ノ土地所有禁止法案ノ如キ及昨年以來繼續セラレテ居リマスル所ノ亞米利加ノ排日問題、ソレガ彌漫致シテ今ヤ全米ノ問題トナッテ居ルヤウデアリマス、而シテ此狀態ハ、亞米利加ノ一ツノ排日ノ手段ト致シマシテ、ソレガ支那ニ及ビ濠洲ニ及ビ或ハ南米ニ及ビ世界ノ殆ド有ユル方面ニ於テ、此排日ノ方法ト云フモノガ講ゼラレテ居ルノデアリマス、ソレデ此方面カラ見マスト云フト、武力的ノ戰爭デアリマセヌケレドモ、宛ニ角平和ノ中ニ於ケル一ツノ戰爭ト云フモノガ、此處ヲ開始セラレテ居ルモノト私共ニ見テ居ル、サウシテ是ガ我國ト亞米利加ノ間ニ於ケル七千哩ノ波濤ヲ越エテ、河ノ向フト河ノ此方トノ口先ノ喧嘩ノヤウデアリマスルケレドモ、是ガ諸種ナル渦ヲ捲イテ行ッテ、サウシテ終ニハ容易ナラヌ狀態ヲ來スモノダラウト思フ、而シテ其狀態ハ必ズ直接亞米利加ト戰爭ヲスルト云フヤウナ事ハアリマスマイガ、惟フニ戰禍ノ伏スル所ハ支那四百餘州デアナクテハナルマイ、ソレガ動機トナルモノダラウト思フノデアリマス、惟フニ支那ニ於ケル所ノ機會均等主義デアリマストカ、或ハ領土保全主義デアルトカ云フコトニ向ッテ、彼等ガ八釜シク其事ヲ唱道致シ、又其唱道ニ此方ノ方ガ從ッテ行カナケレバナラヌヤウナ狀態ニナッテ居リマスルノモ、直接領土ノ上ニ於ケル所ノ利害關係ガ、無クッテ、彼等ノ利益ノ即チ利害關係ガ當面ノ所ニ起ル言葉ヲ換ヘマスト、物質上ノ利害關係、物質上ノ利害關係ノ上カラシテ、此東洋ニ於ケル所ノ禍亂ト云フモノハ、何レノ時カ勃發シナケレバナラヌモノダラウト、斯ウ思フノデアリマス、此方面カラシテ見テ參リマスト云フト、七千哩ノ波濤ヲ越エタ彼

ト、我ノ立場、必ズヤ彼ガ攻勢ヲ取ルカ、或ハ此方ガ攻勢ヲ取ルカ、或ハ彼ガ守勢ヲ取ルカ、或ハ我ガ守勢ヲ取ルカ、此ノ攻勢ヲ取ルカ守勢ヲ取ルカト云フコトハ、海軍當局者ノ最モ考ヘテ居ラレル所デアリ、又是ハ識者ノ間カラ申シマスル時分ニナリマスルト云フコト、惟フニ自分等素人カラ考ヘマシテモ、我國ガ攻勢ヲ取ルト云フヤウナコトハ無イ事ダト爾ク信ジテ居リマス、去ナガラ此點ニ對シテ海軍大臣ノ御見込ハドウ云フ御見込デアリマス、其點モ承シテ見タイノデアリスルガ、要スルニ此七千哩ノ波濤ヲ越エテ河向フノ喧嘩トシテ彼ハ攻勢ヲ取テ來ヌトハ、私共素人ト雖モ思半バニ過ギテ居ルノデアリマス、惟フニ今日ノ亞米利加ニ於テ開戰論ヲ唱ヘテ居ル、所謂歌々者流ノ説ノ如キハ、實現スルトモ思ハレヌノデアリマス、ケレドモ、此點ニ就テノ當局者ノ御意見及將來ノ御考ハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ伺テ見タイ、ソレカラ將來ノ長イ間歴史、及亞米利加ガ東洋ニ對シテヤテ居ル所ノ手段方法ヲ見マスルト云フコト確ニ資本的ノ「デモクラシー」ト云フモノガ漸次東洋ニ向テ迫害ヲ加ヘ、而モ此脅威ト云フモノガ、日二月ニ我國ニ加ハテ參ルノデアリマス、此場合ニ於テ國民ト致シマシテハ、將來ニ對スル所ノ方針及手段方法ヲ考ヘテ置ク必要ガアルノデアリマス、此際二三御尋シテ見タイト思フノデアリマス、ソコデ今日準備シテ居ル所ノ八八艦隊、此八八艦隊、是ガ完成致シテ居ル時分ニナリマス、此燃料廠ノ計畫ニ屬シテ居ルマシラ生産量ト消費量ト云フモノハ、ドウ云フコトニナルノデアリマス、現在ノ計畫ニ依リマスルト、即チ消費シマスル物ニ就テハ十二分ノ餘裕ハ無論アルダラウト思ヒマス、其計畫ニ對スル所ノ御意見ヲ詳細ニ承テ見タイト思ヒマス、去リナガラ先般議員ノ方カラ御尋ヲシタ事ニ就テノ御答ハ、速記録其他ニ就テ承テ居リマス、尙ホ政務調査會ニ於テモ承テ居リマス、此點ニ就テハ明瞭ナル御答ヲ得ナカッタノデアリマス、是ハ軍事ノ機密ニ屬スルト云フコトデアリマス、臆氣ナガラ推察ノ出來ルダケノ程度マデ承リタイト思ヒマス、是ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ニハ、八八艦隊ヲ完成致シマシタ其後ニ於テ、矢張其八八艦隊ヲ補充スベキ所ノ計畫ト云フモノガ必ズヤ無クテハナルマイト思ハレヌノデアリマス、同時ニ、亞米利加ハ東洋方面ニ向テ脅威ヲ加ヘル、隨テ此勢イト云フモノハ、漸次増大ヲ致シテ來ルダラウト思フノデアリマス、隨テソレニ對スル所ノ帝國海軍省ノ御意見ハ如何デアリマス、是ガ第二ノ問ヒデアリマス、第三ニハ、東洋永遠ノ平和ヲ保持スルト云フコトニ就キマシテ、彼ト相對シテ行キマスルハ、我國ノ海軍力ハドノ程度マデ大キタスレバソレ宜イノデアアルカ今日ノ所謂八八艦隊ダケ宜シト云フ御見込デアアルカ、

其點ヲ承リタイ、第四ハ、彼ガ所謂「モンロー」主義ヲ確實ニ試ミル時分ニナレバ、我國ガソレニ對シテ防備スル必要ハナイデアアルカ、歴史的二考ヘテモ、彼等ノヤツテ居ル「モンロー」主義ガ東洋ニ漸次及ンデ參リマスル時分ニナリマスルト、ソレニ向テ武力解決ヲスルト云フ決心ヲ、國民トシテ懷イテ居ナケレバナラヌモノデアアルカ、之ニ就テノ當局者ノ御意見如何、第五ニハ、南ノ方ニ於テ殆ド毎歲海軍ノ演習ガ行ハレテ居リマス、西南方面ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマス、北ノ方面、北海道方面ニ於テ北海軍ノ演習ハ試ミラレナイデアリマス、今後ニ於テ北海軍ノ演習ハ無イモノデアリマス、面ニ於テ演習ヲ爲サルト云フ御計畫ハ如何デアリマス、カドウデアリマス、第六ニハ、北海道方面ニ於テ北太平洋ノ制海權ヲ確立セシム、併セテ防備ヲスル爲メニ、軍港ヲ新設セラル、御考ハナイデアアルカ、第七ニハ、日米關係ニ就テ、前段御尋ヲシマシタ所ノ大綱ノ中ニ入レテ居リマシタガ、我國ハ守勢ヲ取ル御計畫デアアルカドウデアアルカ、ソレニ就テ今日ノ御準備ハ如何デアリマス、ソレヲ承リタイ、第八ニハ、彼ガ守勢ヲ取ルカ攻勢ヲ取ルカト云フコトニ就テハ、何方モ不利益ト云フコトハ、共通ノ事ダラウト思ヒマス、我國ニ於テハ守勢ヲ取ルノハ利益デアラ、攻勢ヲ取ルノハ不利益デアルト私ハ考ヘテ居リマス、之ニ對シテ當局ノ御考ハ如何デアリマス、此八ツニ就テ御尋シテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 唯今ノ御尋ハ海ニ六カシイ御質問デゴザイマス、大體私ノ考ヘテ居ル所ヲ御答シテ見タイト思ヒマス、前段ニ御述ベニナリマシタ事ハ、寧ろ御意見デアリマシテ、御攻勢ヲ取ル守勢ヲ取ルト云フコトハ、時ト場合ニ依リテ變化スルモノデアリマス、爰ニ斷定的ノ意見ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、是ヨリ各項目ニ互テ御述ベニナリマシタ事ニ就テ申上ゲテ見タイト思ヒマス、御尋ガ重ツカカラ少シ忘レタカモ知レマセヌ、脱ケタラ言フテ下サイ、第一ノ御質問ハ、八八艦隊ノ完成シタル後ニ於ケル燃料ノ數量ニ關スル御質問デアリマス、是ハ毎々御質問ニ接スルノデアリマス、數量ト云フ一數ノ事ハ、ハ申上ゲルコトヲ御教シテ願フ置キマス、大體カラ申シマスレバ、現在我國國生産致シマスル石油ヲ基礎ト致シマシテハ、大正六年度末ノ所謂八八艦隊ノ起業ニ對シテモ不足ヲ致シテ居リマス、到底足リマセヌ明白ナ話デアリマス、何等カ他ニ方法ヲ講ジナケレバナラヌコトハ、今日ニ於キマシテ、皆様モ御心配ニナツテ居リマス、私共モ心配ヲ致シテ居リマス、所謂爰ニ石油政策ナルモノヲ樹テル必要ガ生ジテ居ルノデアリマス、然ルニ内地ニ於ケルモノハドノ位出來ルカト申シマス、今日ハ三十万噸カ、四十万噸出ルト云フコトデアリマス、之ヲ全部軍用ニ使フコトニシマス、一般供給ニ不足ヲ來スト云フ結果ヲ生ズラト思ヒマス、ソレヤコレヤ綜合致シマシテモ到底足リナイノデアリマス、其處デドウシテモ海外カラ輸入スルト云フコトヲシナケレバ、事實ニ於テ足リナイト云フコトモ明カナ話デアリマス、現在カラシテ海外カラ輸入スルト云フ方法ヲ講ジツ、アリマス、爰ニ燃料廠ニ關スル法案ヲ提出致シマシタノモ、一ハソレガ原因ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ラバ其海外カラ輸入スルノ二ハドウスルカト云フモノハ、之ヲ買ッテ貯藏スルノ外ハナイノデアリマス、貯藏シマスル數量ト云フモノハ、年々増加致シマス、有事ノ際ニ目的ヲ達スルダケノモノニ達シヤウト云フモノハ、中々努力致サナケレバナラヌノデアリマス、即チ平時ニ於キマシテハ、出來得ル限り海外カラ原油ヲ輸入致シマシテ、之ヲ精製シテ貯藏シ、而シテ内地ニ於ケル油田ヲ、所謂一口ニ申シマスレバ豫備油田トモ申シマス、貯藏シテ置キテ、有事ノ際ニハ軍用ニ出來得ル限りノ數量ヲ供給サセルト云フ方針ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、而シテ此ニ於テ先刻誰方カノ御質問デアリマシタガ、坂本君ノ御質問デアリマシタカ、内地ノ油田ニ對シテドウ云フ方法ヲ執ルカト云フ御話デアリマシタガ、其問題ガ爰ニ關係ヲ致シテ來ルノデアリマス、是ハ今後攻究ヲ致シテ決定シナクテハナラヌ問題デアルト考ヘマス、即チ内地ノ油田ヲ最も有效ニ最も多ク產出サセルニハ、ドウスレバ宜イカト云フコトハ、今後起ル問題デアリ、且ツ之ヲ決定シナケレバナラヌ問題デアリマス、左様ニ致シタラバ、現ニ生産致シテ居リマスル所ノ内地油田カラ出ル油ヨリモ、多クノ油ヲ取ル方法ガ案出サレルデアラウト云フコトヲ期待シテ居リマス、且ツ之ヲ努メナクテハナラヌト思フテ居リマス、要スルニ内地ノ油田ノミデハ到底軍用ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、海外カラ其不足ヲ補充スル、斯ク方針ヲ執ル外ハナイノデアリマス、而シテ其所要ノ數量如何ト云フコトニナリマス、是ハ平時ノ數量ヲモ申上ゲタクナイノデアリマス、何所ノ國デモ秘シテ居リマス、唯ダ斯ウ云フ事ダケハ申上ゲラレ、年々新艦ガ竣工致シマスルト、其竣工スルニ從テ年々所要ノ重油ノ數量ト云フモノガ増加シテ來ル、是ハ自然ノ結果デアリマス、而シテ此自然増加スル所要ノ重油ニ對シテハ、所要額ダケヲ得ル方法ヲ考ヘテ居ルト云フコトハ、御承知置テ宜シイノデアリマス、所謂御質問ノ要旨タル最後ノ、即チ八八艦隊完成後ニ於ケル所要額ヲ如何ナル方法ヲ以テ其目的ヲ達シ得ルカト云フ御質問ニ對シテハ、此處ニ具體的ニ未ダ申上ゲルダケノ研究ハ積ンデ居リマセヌ、即チ内地ノ油田等ニ於キマシテ是等ノ目的ヲ達スル方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、又内地以外ニ於テモ暗々裡ニ御了解ナサルダラウト思

ヒマスガ、相當ノ途ハアルト信ジテ居リマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ、八八艦隊ノ補充ニ對シテ米國ノ脅威如何ト云フヤウナ意味デアッタト思ヒマスガ……

○木下成太郎君 第二ノ御尋ハ、八八艦隊ノ出來マシタ後ニ於テ、更ニ八八艦隊ヲ補充スル所ノ御計畫ガアリマスカト云フ事デアリマス

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 分リマシタ、八八艦隊ハ即チ基本ノ艦隊デアリマス、此勢力ハ永久ニ維持シテ行クト云フ方針ヲ持ッテ居リマス、御承知ノ通り艦ハ年齢ヲ經レバ年齢ヲ増シ、年齢ヲ増セバ其勢力ハ減耗スルト云フコトハ明カナ事デアリマス、所謂艦齡ノ八年未滿ノモノヲ以テ常ニ八八艦隊ヲ維持シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ行クデアリマス、故ニ十六年度末ニ於テ現計畫ガ完成スルト致シマス、十六年度ニ至ッテ是ガ補充ヲ計畫致シテハ間ニ合ハナイデアリマス、私ノ腹案ト致シマシテハ、十三年頃ニハ更ニ補充計畫ヲ提案致サナケレバ、艦齡八年未滿ノ八八艦隊ヲ終始シテ維持シテ行クコトハ出來マセヌ、此勢力ハ今日ノ考ヲ以テハ永久ニ維持シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、第三ノ御質問ハ、米國ノ海軍力ニ對シテ將來我國ノ海軍力トノ比較如何ト云フヤウナ御趣旨ノヤウデアリマスガ……

○木下成太郎君 東洋永遠ノ平和ヲ維持スルノニハ、今日ノ八八艦隊デンレド永遠ノ平和ヲ保持スルト云フ御意見デアルカドウカ……

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) サウ云フ意味デアリマス、是ハ六カシイ問題デアリマス、相對ノ話デアリマス、常ニ私ハ申シテ居ルデアリマス、我が海軍力ヲ確定致シマスル根底ハ、必ズシモ米國ノミヲ相對トハ考ヘテ居ラナイ、此點ハドウカ能ク御諒解ヲ願ッテ置キタイデアリマス、而シテ東洋ニ如何ナル國ガ如何ナル勢力ヲ派遣シ得ルカト云フコトハ、是ハ一ノ想定ヲ致シテ考ヘルヨリ外ハナイデアリマス、假ニ米國ト致シマスレバ、米國ガ其全艦隊ヲ東洋ニ派遣シ得ルヤ否ヤ、或ハ歐羅巴ノ他ノ國ニ同時ニ海軍勢力ノ一部分ヲ派遣スルカモ知レナイ、此等ノ國カラ脅威ヲ受ケルカモ知レナイト云フコトニナルデアリマス、其勢力ナルモノハ、我が海軍力ヨリモ必ズヤ大ナルモノデアルト云フ事ヲ期待シナクテハナラヌト思フデアリマス、而シテ勢力ト比較ト比較致シマスレバ、我が八八艦隊ガ完成後ニ於テモ我が海軍力ノ方ガ弱カラウト思ヒマス、然ラバ弱イ艦隊ヲ以テ東洋ノ平和ヲ維持スルコトガ出來ルカドウカ、是カラ先ハ外交問題モ多少携ハシテ來ヤウト思フ、艦隊ノ勢力ト比較ノミヲ以テ直チニ強弱ヲ判斷スル譯ニモ行カナイデアリマス、地理的ノ關係ガ非常ニ影響シテ來ルデアリマス、遠征ヲシテ

目的ヲ達スルト云フコトハ中々困難デアリマス、然ラバ弱クテモ、遠征ノモノニ對シテ人カノ弱イ方ガ勝ツ場合モ往々アルデアリマス、現ニ波羅の艦隊ガ參リマシタ時ニモ、勢力ハ或ル意味ニ於テハ波羅の艦隊ノ方ガ強カッタ、併ナガラアノ困難ナル遠征ノ士氣ニ於テ、艦隊ノ勢力ハ知ラズ識ラズノ間ニ減耗シテ居ル、士氣ニ於テ、其他艦ノ中ノ狀態ニ於テ減耗シテ居ル、其等ノ結果アノ結果ヲ來シタラウト思ヒマス、斯ウ云フコトハ數字ノ直チニ判斷スルデアラウト少シク早計ノヤウニ考ヘラレ、ソレ此八八艦隊ヲ以テ東洋ノ平和ヲ必ズ維持スルコトガ出來ルデアラウト云フ斷言ハ出來マセヌト同時ニ、維持スルコトガ出來ナイト云フ斷言モ出來ナイダラウト思ヒマス、是ハ其時ノ狀況ニ依ルモノデアアル、單ニ亞米利カノミヲ相對ノニ考ヘテ見マシテモ、全勢力ヲ舉ゲテ來レバ、先方ハ勢力ガ強イコトハ明カナ話デアリマス、數字のノミヲ以テ判斷スルコトハ、東洋ノ平和ヲ維持スルコトガ出來ル出來ナイト云フ斷定ヲ下スコトハ、少シク早計デアリマセウ、其間ニハ必ズ外交的ノ問題ガ生ジテ來ル、サウ云フ風ニ私ハ考ヘル、第四ハ「モンロー」主義ガ實行サレテ居レバ、東洋ニハ大シタ影響ハアルマイト思フガト云フヤウナ御話デアリマス、或ハサウ云フコトニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ段々何所ノ國デモ主義方針ハ時ノ進運ニ從ッテ變更シテ參リマスカラ、之ヲ以テ安心ダト云フコトモ言得ナイト思ヒマス、是亦外交的ノ意味ヲ大ニ含シテ居ルデアリマス、單ニ武力ノミカラ判斷シテ安心デアアル無イト云フ斷言モ出來兼ネヤウト考ヘマス、第五ハ、北海道方面ガ演習ヲ今迄シナイガ、今後ハスル計畫ガアルカドウカト云フコトデアリマス、是ハ八年々定メルデアリマス、スルトモシナイトモ御答ハ出來マセヌ、今迄トモ全然シナイ事ハアリマセヌ、皆様ノ御目ニハ留ラヌカモ知レマセヌガ、計畫ノ中ニハ度々入レラレテ居ル、唯ダ艦隊ガ北海道方面ニ於テ多ク行動シナイト云フダケノ話デアリマス、戰略的ニハチヤント出來テ居リマス、第六ハ、北方ニ軍港ヲ設備スル考ガアルカドウカト云フ御質問デアリマスガ、今日ニ於テハアリマセヌ、又今日ハ其必要ヲ感ジテ居リマセヌ、第七ハ、攻勢ヲ取ルカ守勢ヲ取ルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ戰略上カラ申シマス、攻撃ハ防禦ト云フコトノ第一義デアアル、併ナガラ主義トシテハ守勢ヲ取ル、是ガ今日ノ方針デアリマス、守勢ヲ取ルト云ヘバ、必ズ退嬰策ヲ講ジテ軍港ノ中ヘ引込シテ外ヘ出ナイト云フ意味デアリマス、或ハ飛出スカモ知レマセヌ、第八番目ハ、攻守ノ利害ハ共通ノモノダト思フテ居ルガ、ドウカト云フコト、如何ニモ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ必ズシモ共通ト許リモ言得ナイト云フノハ、時ト場合ニ依リマス、大體カラ申シマスナラバ、共通ノモノトモ言フコトガ出來マスケレドモ、時

ニハ攻勢ヲ取ッテ非常ニ利益ノ事ガアル、守勢ヲ取ッテ利益ノコトモアル、一概ニ斷定シテハ言ヘマセヌガ、先刻御話ノヤウナ趣旨カラ申シマシタナラバ、共通トハ言得ナイカト思フ、大體少シ漠トシタ御答ノヤウデアリマスケレドモ、何レモ御質問ハ非常ニ難問題デアリマス、議論ヲスレバ實際ノ無イ問題デアリマス

○高野毅君 海軍大臣ニ御尋シマスガ、原油ノ契約ハ大正十一年中ニ四十五万噸ト思フテ居リマスガ、十一年度以後ノ買入ノ契約ガ出來ルカドウカト云フ豫想ヲ御聞キシタイ、亞米利加デハ近時非常ニ原油ノ逼迫ヲ告ゲテ來マシタ、墨西哥カラ年々四五万噸モ入レテ補充スルト云フ有様デ、近ク原油輸出ノ禁止ノ權能ヲ大統領ニ與ヘルト云フ議論ガ、大分上院デ盛デアルヤウデアリマスガ、ソレニ就テノ大臣ノ考ヲ承リタイ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 私ハ十一年度以降ニモ契約ガ出來ル見込デアリマス、新聞ナドニハ色々ノ記事ガ出テ居リマスガ、新聞ニアル程ノ狀態デナイト見テ居リマス

○木下成太郎君 大臣ニ御尋シマスガ、燃料廠ト云フモノハ現ニ差掛リノ必要ダケノモノノ御請求デアッテ、ソレカラ後ニナリマス、モット規模モ擴大サレテ行カナケレバナラヌヤウニ思フテ居リマス、隨テ或ル場合ニ於テハ、モト擴張セラレタル御計畫ガ更ニ出ルモノト見テ宜シイデアリマスガ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 唯今ノ所ニ於キマシテハ現狀ヲ維持シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、皆様ノ方カラ御希望ヤラ御意見ヤラ出ルデアリマスケレドモ、爰ニ又民業ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、民間ニ於キマシテモ多少裏面ニ於テ計畫シツ、アル者ガアルデアリマス、是等ガ豫期通りニ成功致シマスレバ、強テ海軍ガ經營致シテ居ル燃料廠ヲ擴張スル必要ハ無イト云フコトニナルト思ヒマス、若シソレガ不成功ニ了レバ或ハ擴張計畫ヲ御願スルカモ知レマセヌ、民業ト官業トノ按排ヲ宜クシテ行クコトガ必要ダラウト思ヒマス

○木下成太郎君 燃料事業ニ就テノ民間事業ノ趨勢ハドウナシテ居リマスカ

○志佐政府委員 民間事業ノ經營ニ就テハ、御承知ノ通り賣田其他日本石油等ガ、漸次事業ノ擴張ニ伴ヒマシテ、燃料ノ經營ハ進捗シツ、アルト認メテ居リマス、成ルベク其事業ノ發達ニ依ッテ、サウシテ海軍ノ方ノ供給ヲ十分ニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○木下成太郎君 今ノ御見込デハ民間事業ガ漸次發達スルニ從ッテ、海軍ノ方デハ其供給ガ得ラレト云フ御見込ガ立ッテ居リマスカ

○志佐政府委員 ソレ程ノ見込ハ今日立ッテ居リマセヌ、

目下ノ所ニ於キマシテハ、過日誰方カニ海軍大臣ヨリ御話ガアツタヤウデアリマスガ、現ニ今日ノ製造力ハ民間ノ需要ニ應ズルニ止マルヤウナ状態デアリマスカラ、是ガ若シク發展スル時期ニ向ヒマセヌデハ、海軍ノ需要ヲ民間ニ信賴スルト云フコトハ、到底唯今ノ狀況ニ於テハ出來マイト考ヘテ居リマス

○木下成太郎君 尙ホ御尋シマスカ、貯藏セラレル所ノ石油ト云フモノハ、今日カラ推算シマシテ、八八艦隊完成迄ノ間ニドノ位ノ數量ヲ入レルト云フ見込デアリマスカ

○志佐政府委員 其數量ノ確カナルモノハ私ノ方ニ調ベタモノノゴザイマスガ、是ハ公開ノ席ニ於テハ申上ゲナイコトニナラズ居リマス、丁度潜水艦ノ數量ヲ言ハナイト同ジヤウナ關係ニナラズ居リマスガ、確ニ見込ハ立ッテ居リマス

○坂本素魯君 前ノ議會ニ於テ政府委員カラ、日本ノ國民ハ石油ノ問題ニ就テ頗ル冷淡デ、知識ガ無イト云フコトヲ甚ダ憂慮スルト云フ御話デアリマシテ、是ハ私共モ大ニ同感デアリマス、所ガ昨年議會閉會以來全國ノ新聞雜誌ニ於テ此石油問題ニ就テハ論議サレマシテ、今日ハ國民ガ却テ我ガ帝國ノ海軍ニ對シマシテ杞憂ヲ懷イテ居リマスカ

ラ、軍機上ニ御差支ナイ範圍ニ於テ詳細ニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ニ政府委員ニ御尋シタイノハ、現在ノ燃料ハ艦船ニ於テドウ云フ方法ニ依ッテ使用サレテ居リマスカ、或ハ重油ノミヲ使用スル方法デアリマスカ、或ハ又石炭ノミヲ使用スルコトニナラズ居リマスカ、或ハ混合ノ方法ニナラズ居リマスカ、其邊ヲ詳細ニ御話ヲ願ヒマス、第二ニ政府ガ公然御發表ニナリマシテ、今仕事ヲセラレテ居ルノハ臺灣ノ油田ノミデアリヤウデアリマス、其臺灣油田ハ昨年ノ議會閉會後ニ於テドウ云フ成績ヲ上ゲマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ、第三ニハ、昨年ノ議會ニ於テ政府委員ヨリ十年度ニ於テモ臺灣ニ於テ繼續事業トシテ油田ノ試掘ヲシタイト云フ御話デアリマシタカ、十年度ニ對スル御計畫如何、此三點ヲ伺ヒマス

○志佐政府委員 現在ノ燃料使用ノ方法如何ト云フ御尋ニ就テハ、大部分ハ煉炭ヲ使ウテ居リマス、ソレカラ石炭塊炭デ、補助艦艇ノ驅逐艦其他潜水艇ノ如キ、重油ヲナケレバナラヌ種類ノモノハ、重油ヲ使ッテ居リマスカ、重油ヲ使用シテ居ル現在ノ狀況ハ、極メテ一小部分デアリマス、又釜ノ構造ハ、大艦中艦等ハ成ベク混燒ノ方法ニ依ッテ居リマス、場合ニ依ッテハ石炭、場合ニ依ッテハ重油モ焚ケルト云フ方法ヲ執ッテ居リマス、第二ノ御質問ノ臺灣油田ノ成績デアリマスカ、是ハ甚ダ遺憾デアリマスカ、折角御協賛ヲ經テ今日迄引續イテ一箇所ヤッテ居リマスカ、一箇所ハドウデアアルカト

思ッテ居リマシタカ、昨年ノ暮迄ヤッテ居リマシテ、一月ニナラズテ初メテ到底見込ガ無イト云フ最後ノ結論ニ達シマシタ、大正十年度ニ於テハ今日ハ臺灣油田ノ調査ヲ繼續スルト云フ豫算ヲ計上シテ居リマセヌ

○木下成太郎君 山口縣、福岡縣ニ於テハ燃料ニ堪ヘル、煉炭ニ堪ヘル所ノ石炭ガアルノデアリマスカ、北海道ノ石炭ハ煉炭ニスル資料トシテハ足リナイト云フノデアリマスカ、或ハ炭田ト云フモノハマダ發見セラレナイ譯デ、北海道ニ於テハ此原料ト云フモノヲ御採リナリマセヌカ、第二ニ若シ北海道ニ於テ炭田ガ無イト云フコトデアレバ、海軍デ使用セラレル炭田ガ無イトスレバ、ソレハドウ云フ譯デアリマスカ

○志佐政府委員 煉炭ノ原料トシテ山口縣下並ニ福岡縣ニ於テ現ニ使用シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレカラ北海道ノ炭田ニソレニ合フモノガナイカドウカト云フコトガ御尋ノ要點ト思ヒマスガ、現ニ當局ニ於テハ其調査ヲ進メテ居リマスカ、北海道ニサウ云フ種類ノ炭ガ有ルカ無イカハ、今後ノ結果ニ俟タナケレバナラヌト思ヒマス、今直チニ北海道ニハ煉炭ニ使用スベキ炭ガ無イト云フ結論ニハ達シテ居リマセヌ

○木下成太郎君 現在調査中デアリマスカ

○志佐政府委員 調査ヲ進メツ、アリマス

○委員長(龍野周一郎君) 私モ政府委員二三點伺ッテ見タイト思ヒマス、石炭ノ採掘ヲ海軍省自ラヤラナイデ、民間ノ實業家ニ十分責任ヲ持タセ、又命令ヲ嚴重ニシ、監督モ嚴重ニシテヤラシタカ、或ハ經濟的ニ事業ガ出來ルト云フヤウナコトハアリマスマイカ、是非海軍省ガ直轄デヤラシタレバ、何カ不都合ヲ生ズルト云フ心配ガアルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒマス

○志佐政府委員 唯今ノ如キ御質問ハ、長イ間從前ヨリ屢、承ハル御質問デアリマシテ、何故海軍ハ石炭採掘ヲ自分デヤッテ民業ニヤラセナイカト云フコトニ就テハ、三四年以前且ツ其當否又ハ利害如何ト云フコトニ就テハ、三四年以前ニ政府ノ方針トシテ、總テ官營事業ヲ民營ニ移スト云フヤウナ意味ノ調査ヲシタ時ニモ、大ナル問題トシテ此議論ハ攻究サレタノゴザイマス、結論ト致シマシテハ、何分民業ニ致シマスルト云フコト、經費ガ澤山掛リマシテ、サウシテ却テ政府ノ購買價格ヲ餘計ニ出サナケレバナラヌ、要スルニ炭ノ値段ガ高クナルト云フ結果ニナリマシタカ、引續キ今日迄官業ヲ繼續シテ居リマス次第ノゴザイマシテ、現ニ此戰時中ニ世間ノ景氣ノ好イ時ニハ、石炭ノ値段ガ非常ニ高クナラシメ、タコトガアリマシタカ、幸ニ其當時ハ海軍ノ自營ニ待テ得ル部分タケルモノハ、安ク需要ヲ全フスルコトガ出來マシタト云フコトハ、近ク此時局中ニ經驗シタ實際ノ實例ノゴザイマス、故ニ如何ナル點カラ考ヘマシテモ、海軍トシテハ之ヲ民

營ニ移スト云フコトハ、到底出來ナイコトノゴザイマスカ、先以テ從來ノ通りニ此官營ヲ繼續シテ行クト云フ考ノ上ニ進行シテ居リマス

○委員長(龍野周一郎君) 次ニ御尋シテ見タイコトハ、重油ノ貯藏デスガ、是ハ非常ニ危險物デアリマスカ、吾々素人デハ能ク分リマセヌケレドモ、火藥ノ貯藏杯ト同ジヤウナ危險ノモノデアラウト思ヒマスガ、此貯藏ノ方法ハ何年間之ヲ貯藏ナサツテモ其效力ガ減ズルトカ、或ハ數量ガ減ルトカ云フヤウナ虞ハアリマスマイカ、又是ハ軍機ノ機密ニ關スルト私ハ思ヒマスガ、貯藏スル場所ト云フモノヲ若シ敵ニ知ラレルト云フコトガアリマシレバ頗ル危險ノモノデ、飛行機デモ來テ爆彈デモ投下サレ、バハ爆發シテシマツテ、日本ノ海軍ハ働キガ付カナイヤウニナルカモ知レマセヌガ、此貯藏ノ場所ト云フヤウナコトハ吾々ハ質問スル積リデモアリマセヌ、併ナガラ斯ル危險物ヲ人家ノ澤山アル附近ニ貯藏ナサルト云フヤウナコトニナリマスト、餘程憂慮スベキ事ガアラウト思ヒマスガ、其等ノ事ニ就テハ遺憾ナク御設備モ出來ルデアラウトハ想像シマスカ、御話ノ出來ル程度ニ於テ此事モ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス

○志佐政府委員 重油貯藏ノ構造ハ極メテ簡單ノゴザイマシテ、鐵製ノ油入ヲ拵ヘ、若クハ鐵筋ノコンクリートヲ拵ヘ、重油槽モゴザイマス、危險ト云フコトハ、成程火ガ點キマシタ以上ハ極メテ危イモノニ違ヒゴザイマセヌガ、火藥若クハ輕油トハ自ら爆發力ノ程度ヲ異ニ致シテ居リマシテ、大ニ安全ナルモノト考ヘテ居リマス、而シテ民家ヲ遠ク、其他例ハ雷デ火ヲ導クト云フヤウナ事ノナイヤウニ、十分ノ注意ヲ設備上加ヘテゴザイマスカ、其點ニ就テハ何等ノ手落ハナイ積リデゴザイマス、場所ノ所ハ今此所デ何處ニ幾ツ、何處ニ幾ツト云フコトヲ申上ゲルコトハ無論出來マセヌ、又サウ云フコトヲ御尋ニナルノデアリマシテ、何處ニ幾ツ、飛行機ノ發達以來上カラ見テ分ラヌヤウナ工合ニ、森ダノ林其他土ヲ上ニ被セルト云フヤウナ設備ヲ致シマシテ、外觀カラ成ベク之ヲ發見シ得ラナイヤウナ構造ニ今日ハ計畫シテ居リマス、既往ノ分ニ就テハ是ハ亞米利加、英吉利杯デモサウデゴザイマスガ、普通ノ東京ノ近在ニモゴザイマス、瓦斯ノタンクノ見タヤウナ、何所カラ見マシテモ著シク見付カルヤウナ構造ニナラズ居リマスカ、將來ハ成ベクサウ云フヤウナコトハナイヤウニ、土中式ト云フカ、若クハ已ムヲ得ナケレバ土ノ上ニ造リマシテ林ヲ以テ蔽フトカ、木ヲ其所ニ稠密ニ植付ケルト云フ方法ヲ以テ、危險ヲ防止スルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○委員長(龍野周一郎君) モウ一ツ伺ヒタイノハ、支那ノ山西省邊リニ石油ガアルヤウニ聞イテ居リマス、甘肅邊リニ

山西省邊リニ石油ガアルヤウニ聞イテ居リマス、甘肅邊リニ

山西省邊リニ石油ガアルヤウニ聞イテ居リマス、甘肅邊リニ

モアルト云フ事ヲ聞イテ居リマス、甘肅ハ非常ニ不便ト所  
デ、中々運搬スルコトモ不可能ノヤウニ私共ハ聞イテ居リマ  
スガ、山西省ノ石油杯ニ就テハ、海軍省デハ意ヲ留メテ多  
少御調ベニナリ、又石油ヲ得ルコトニ就テ何カ手段ヲ御講  
ジニナタ事ガアリマスカ、如何デアリマセウカ

○志佐政府委員 唯今ノ御尋ノ如キ事ニ就キマシテハ、公  
開ノ席デ申述ベルコトハ稍、憚カルヤウナ、心持モ致シマスガ  
大體ニ於テ海軍當局トシテハ十二分ニ其等ノ調査ハ眞面  
目ニ進行シテ居リマス

○高野毅君 原油ノ買込値段、先程政府委員ノ言フ  
所ニ依ルト、亞米利加デ一噸二十一圓ト聽キマシタ、之ヲ  
海軍ハ自己ノ「タンク」船ヲ以テ運搬スルト云フコトデアリマ  
スガ、果シテサウデアルト、一噸ノ費用ハ日本ニ來ルマデノ間  
ニ幾ラデアルカ、其價格ヲ一寸承リタイ

○志佐政府委員 先程申上ゲマシタノハ二十七圓デゴザ  
イマスガ、ソレハ大正六年頃ノ價格デス、今日ニ於テハ無論  
サウ云フ價格ハ契約上成立ツコトハ不可能デゴザイマス、  
高イノハ先程申上ゲマシタヤウニ七十三圓デアリマスガ、現  
在ノ所デハ高イ方ノ側デ契約スルコトニナル外ナカラウト思  
ヒマス、ソレカラ一噸ノ値段ト運賃、重油運送船ノ費用ヲ籠  
メマシテ割出スト云フコトノ計算ハ、遺憾ナガラ御役所ノ缺  
點デセウカ、私ノ方デ取ツタモノガゴザイマセウカ、他日計  
算致シマシテ御參考ノ爲メニ書面デ御手許ニ差上ゲルコト  
ニ致シマス

○高野毅君 先程海軍大臣ノ原油買入ハ十一年後モ買  
入レ得ル見込ダト云フ御話デアリマシタガ、併シ若シ買入レ  
ルコトガ不可能トスレバ、海軍デ是ヨリ設置スル製油所ハ大  
正十一年デ不要ニナルコトニナルデアリマスガ、免二角唯  
今買入契約シアル四十五萬噸ニ對シテハ民間ニ委託製造  
サセテ、此十一年ヲ待ツテ其狀況ニ依ツテ製油所ヲ海軍デ設  
置スルノ意思デアルカ、海軍ニ於テ斯ル御考ヲ御持チテアル  
カ

○志佐政府委員 十一年度以降ノ事ニ就キマシテハ、先  
程海軍大臣ヨリ御答ノアツタ通りデアリマス、而シテ若シ其  
時ニ海外ヨリ取入レルコトガ出來ナカッタナラバ云々ト云フ  
御問デアリマスガ、私ノ今日ノ考デハ海外ヨリ取入レルコト  
ノ出來ナイコトハ豫想シテ居リマセウ、而シテ取入レルコト  
ガ出來ル程度ニ於テ、今ノ現在ノ設備ヲ擴張スルカ、或ハ  
縮小スルカ、現狀ニ止メテ置クコトハ決セラル、ト  
考ヘマスカラ今爰ニ私ノ見込ヲ申上ゲルコトハ一寸困難カ  
ト思ヒマス、成ベク當局ノ考トシテハ民業ニ重キヲ置イテ、而  
シテ民業ノ發達ニ依リマシテ、海軍ノ燃料廠ノ設備ヲ徒ラ  
ニ龐大セシムルト云フヤウナ事ハシナイ考デアリマス

○委員長(龍野周一郎君) 質問終了デ宜シウゴザイマス  
カ—ソレデハ質問ハ終了シマシタ、次回ハ公報ヲ以テ御通  
知ヲ致シマス

午前十一時四十三分散會

大正十年二月十九日印刷

大正十年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局